

会社名	業種	社員数	取組の背景・目的	取組の内容	取組の効果
丸一鋼管株式会社	鉄鋼業	連結: 2381名 単体: 626名 (2021年3月期)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年4月よりテレワークを導入。 業務効率化、ペーパーレス化の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、当社独自の勤務体制表【平常時、及びステップ(=対策レベル)1~3までの計4段階】を導入。関連グループ各社を含め、各拠点の地域における感染状況により、対策レベルを設定。 <p>ステップ1(感染リスクが存在する) 通勤・通学時間を避けた時差出勤をメインとするが、テレワークも可能。</p> <p>ステップ2(感染拡大兆候時) 時差出勤とテレワークを併用する。</p> <p>ステップ3(感染拡大時) 原則、テレワークをメインとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> テレワークでも社内環境へアクセス出来るようにシステム環境の整備を実施。 社内会議はZOOMを使用し、原則リモート開催としている。 製造部門については、自家用車勤務がメインである為、原則出社体制としている。工場内では、入場者への検温や消毒・従業員の食事時間調整・パーティションの設置・共用風呂の停止といった基本的な対策を講じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内のクラスター感染は発生していない。 感染症拡大時等の非常時における働き方について、一定の基準作りやその課題が明らかとなった。 web会議の浸透により拠点間のミーティングが増加。今まで出張対応出来なかった実務担当者も参加出来ている。 アナログ処理が続いていたものをシステム化、またペーパーレス化しようとする機運がより一層高まっている。